

議長	局長	次長	係長	事務局員

復命書

平成30年2月2日

三沢市議会議長 小比類巻 正規 殿

議会運営委員会委員長 堤

喜一郎



副委員長 堀

光雄



委員 田嶋 孝安



委員 遠藤 泰子



委員 加澤 明



委員 船見 亮



委員 山本 弼一



議長 小比類巻 正規



随行（事務局係長）中村容三



（事務局主査）高橋涼平



平成30年1月28日から平成30年1月30日まで、佐賀県武雄市及び福岡県太宰府市において、当委員会の行政視察を実施したので、その概要について下記のとおり復命いたします。

記

2 観察概要－1【佐賀県武雄市】

- (1) 日 時：平成30年1月29日（月）午前9時30分～11時10分
- (2) 会議場：武雄市議会 議場（議場の見学も含む。）
- (3) 対応者：武雄市議会事務局 局長末藤彰彦
" 議事係長吉永和彦
- (4) 観察項目：議会の『見える化』について
(議場モニターテレビの運用状況及び携帯端末・タブレット等による同時文字通訳の運用状況について)
- (5) 概要：

① 武雄市議会の概要

武雄市は、平成18年3月に旧武雄市・山内町・北方町が合併し、現行の武雄市が形成され、面積195.40km²、人口約4万9千人の都市で、面積・人口ともに三沢市との同程度となっています。また、武雄市議会では、市町村合併以降、議員数の削減に努めており、現在の議員数は23人（定数24人）となっているが、次回の選挙から定数を20名に削減する予定であるとのことです。

予算の概要としては、一般会計予算249億2299万円に対し、議会費が2億6630万円、構成比が1.1%となっているため、三沢市（221億4300万円のうち議会費2億1415万円、構成比1.0%）と比較して議会費が多くなっているものの、議会改革による様々な取組みを実施しているとともに、現行の議員数が三沢市よりも5名多い状況からみると、議会費の削減にも努めているものと思われました。

② 議会の『見える化』の取組みについて

武雄市議会の見える化に関する取組みは、ア. CATV及びインターネットを活用した議会の生中継。イ. 一般質問におけるモニターテレビの活用。ウ. 議場へのPC機器類の持込み。エ. 文字同時通訳配信。の4項目について取り組んでいるとのことでした。

ア. C A T Vでの議会生中継については、もともと武雄市が電波障害地域であったため、昭和54年から地元のC A T V(民間)会社が設立されており、昭和59年から議会中継を実施しているとのことでした。また、近年では当該映像を活用し、インターネットにおける議会生中継(ユーストリーク)についても実施しているとのことでした。

イ. 一般質問でのモニターテレビの活用については、もともとC A T Vでの議会中継があったため、一般質問の際に、市民にも分かりやすくするために、議員がパネルを作成して一般質問を実施していたものの、パネルの作成に時間や費用を要していたことから、議会改革の一環として、平成24年度からP Cの普及に併せ、モニターテレビを活用するようになったとのことです。現在では、理事者側の答弁にあたっても、グラフなどの画像を用いるなど、多様な運用がなされているとのことでした。

ウ. P C機器類の持込みについては、議場内の配線等の経費として、理事者側の庁内ランの配線・電気工事に829,500円、議員用のw i f i環境整備に231,000円を投じて実施したとのことで、本会議における各種用紙の削減にもつながっているとのことでした。

エ. 議会での同時文字通訳の配信では、議場内において同時文字通訳がされることから、聴覚障がい者が傍聴する場合の対応が可能であるだけでなく、C A T Vやインターネット配信での議事進行が分かりやすくなり、また会議録の速報版としても活用されているとのことでした。同時通訳の手法としては、本会議の生中継データを翻訳センターに配信し、翻訳センターにおいて即時P Cでの打ち込みを行い、打ち込んだ文字が議場やインターネット配信で流れというシステムであるとのことでした。

なお、運用に係る経費については、平成28年度の実績として同時通訳業務委託として229万円。会議録の印刷製本費が87万5千円ということで、三沢市の会議録作成業務委託料の147万円と比較すると高額ではあるものの、その分、市民サービスの向上が図られているとのことでした。

③ 各委員の質疑応答

○堀副委員長Q・・・武雄市議会の議会改革は非常に進んでいると思われますが、現在の懸案事項や課題はありますか？

○武雄市A・・・議会改革に終点はなしというスタンスで取組んでおり、現在はIT行政推進特別委員会において、本会議や委員会におけるタブレットを活用したペーパーレス化について検討をしている。

○堤委員長Q・・・一般質問の答弁において理事者側でもモニターテレビを活用しているとのことでしたが、理事者側では、提案理由の説明時における当初予算時の款項目ごとの比率の表示などにも活用しているのか？

○武雄市A・・・一般質問での活用のみです。

○遠藤委員Q・・・同時通訳に係る経費の額は？

○武雄市A・・・同時通訳及び会議録作成の委託業務料が229万円。会議録の印刷製本費が87.5万円。

○田嶋委員Q・・・セキュリティの問題で理事者側の府内ランと議員用のWIFIを分割しているのか？

○武雄市A・・・ご質問のとおりセキュリティの問題で議員及び傍聴者はWIFIで対応している。

○船見委員Q・・・委員会の様子については、CATVやインターネットで放映しているのか。

○武雄市A・・・現在のところ委員会については対応していない。

○山本委員Q・・・CATVの放送にあたって、一般質問の時間が不明確になると思われるが、CATVでの放映時間確保等の対応は？

○武雄市A・・・一般質問ひとりあたりの割当時間を1時間とし、残時間は休憩にしている。なお、当該休憩時間中のCATV生放送では議場風景の映像に『休憩中』のテロップを表示して対応している。

○山本委員Q・・・市民からの委員会中継の要望はないのか？

○武雄市A・・・議員からも市民からも、要望なし。

- 堤委員長Q・・・かなり議会改革が進んでいるが、議会改革にあたって、議会事務局職員の増員等はあったか？
- 武雄市A・・・議会改革は、議員が取組んでおり、その準備等も議員が実施しているため、事務局職員の増員はなし。
- 山本委員Q・・・議会広報誌の発行はしているか？
- 武雄市A・・・議会広報誌は発行していません。

④ 所 感

武雄市では、古くからCATVを活用した議会中継に取組んでいたこともあります、『議会の見える化』については、全国の自治体の中でも、かなり先進的な取組みがなされていました。各取組みについて必要予算額でみると、議場モニターテレビの設置については、約190万円。議場へのPC類の持込みに係る経費が約106万円。同時文字通訳については、会議録の作成まで含めて年間約317万円となっているため、今後において、三沢市議会として必要かどうかを見極めながら、議員における討論を重ねて、必要と思われるものから、実施に向けた検討をしていくべきものと思われました。

特に、現在の三沢市議会における問題点として、平成26年度に施行された障がい者差別解消法の一部改正に即した、車イス来庁者や、聴覚に障がいがある方でも傍聴できる環境づくりが必要であるため、当該法律への対応を踏まえた検討をしていくべきであると思われました。

2 観察概要－2【福岡県太宰府市】

- (1) 日 時：平成30年1月29日（月）午後14時00分～15時20分
- (2) 会議場：太宰府市議会全員協議会室（終了後：議場見学）
- (3) 歓迎挨拶：太宰府市議会 議長 橋本 健
- (4) 対応者：太宰府市議会事務局 議事課長 花田 善祐
書記 高原 真理子
- (5) 観察項目：本会議傍聴に係る障がい者受け入れ体制の状況について
 - ①聴覚障がい者への手話通訳の対応状況について
 - ②車イス来庁者の傍聴について

※説明終了後、議場の見学
- (6) 概要：

① 太宰府市議会の概要

太宰府市は、古くには九州地方の政治等の要となる太宰府政府が所在しており、近年では大学等の文教都市として、また福岡市のベットタウンとして、発展しております。面積が約 29.6 km²、人口約 72,000 人で、現在でも人口が微増しているとのことでした。議員数は三沢市と同じ 18 人で、予算の概要としては、三沢市の予算規模と同程度で、一般会計予算 233 億 1680 万円に対し、議会費が 2 億 4951 万円、構成比が 1.1% となっているため、三沢市（221 億 4300 万円のうち議会費 2 億 1415 万円、構成比 1.0%）と比較すると、議会費が多い状況となっておりました。なお、その要因としては、議員報酬が高いいためと思われます。

② 車イス来庁者の議会傍聴について

太宰府市では、昭和 60 年の市庁舎新築時から、本会議場がある 5 階までエレベーターでの移動が可能な状況であるとともに、5 階エレベーターから議会傍聴席までは車イス用のスロープが設置されているため、車イスでの訪問者についても傍聴が可能な状況となっていました。ただし、これまでの傍聴実績をみると、車イスでの訪問者は居なかったとのことです。

③ 聴覚障がい者への手話通訳の対応状況について

太宰府市議会では、平成 11 年 9 月議会から、手話通訳の対応について取組んでいるとのことで、定例会・臨時会の都度、『会期中に手話の必要が生

じた場合の手話通訳者派遣に係る依頼文書』を市内の『太宰府手話の会』に提出しているとのことです。これまでの実績としては、平成26年12月議会において『手話言語法の制定を求める意見書』の請願の審議の際の1回だけという状況であるとのことでした。なお、当該手話通訳者派遣にあたっては、1人あたり2,000円×2名で、計4,000円の謝礼を支出したとのことです。

なお、太宰府市議会では、インターネット（議会傍聴のページ）において、傍聴にあたって手話通訳を希望される場合には、1週間前までに議会事務局に連絡をいただくよう周知しているとのことでした。

太宰府市議会の今後の課題としては、現在、実施している本会議のインターネット中継において、同時手話通訳を導入することについての検討が必要であると事務局では考えているものの、常時の手話通訳を実施する場合には、手話通訳者の確保や当該謝礼に要する経費の予算確保が必要なことから、各議員の意識向上を踏まえて、議会運営委員会等での検討が必要であるとのことです。

④ 議場設備について

太宰府市議会の議場設備では、議員席が三沢市と同様の3名テーブル×2が3列（18席）設置されており、三沢市議会の議場と同様の議員席の配置となっていたが、左右のテーブルを離し、中央部分の空白地帯を広くすることにより、最前列の中央部分に議員の一般質問席を設けていました。

太宰府市議会の事務局職員に聞き取りをしたところ、一般質問の初回一括質問時には演台からの一般質問を実施し、自席ではなく一般質問席に着座。理事者側の一括答弁終了後に、中央の一般質問席から一問一答方式で再質問・再々質問を実施しているとのことでした。

また、議場内にテレビモニターを設置しており、マイクのスイッチと連動したカメラアングルとなるようにPCで設定されているため、タッチパネルでマイクのスイッチを発言者位置にセットすると同時に、当該座席がモニタ

一に映し出される仕組みになっていました。また、当該モニターでは発言者の映像だけでなく、質問時間の残時間も表示されるため、質問議員はもとより、会場にいる全員が質問時間の残時間や、質問時間のオーバーを認識できるため、分かりやすい一般質問の議事運営がなされているとのことでした。

⑤ 所 感

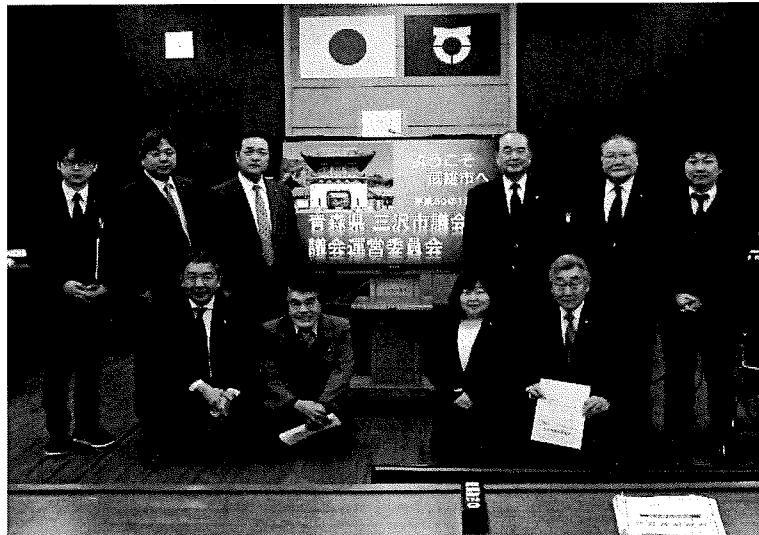
太宰府市議会では、車イス来庁者や、聴覚障がい者の傍聴実績が少ないにも関わらず、定例会・臨時会毎に手話通訳の依頼文書を提出することにより、事前に連絡があった場合に対応できる体制が構築されていました。

三沢市議会では、車イス来庁者の議会傍聴にあたって、傍聴席までのスロープがないため、傍聴席まで階段での移動となってしまうことから、ロビー中継画面での傍聴をお願いするか、事務局職員が2～3名で傍聴席までの移動を補助することとなります。移動時の危険性や不便性、地震など緊急時の対応などを考慮すると、障がい者差別解消法の一部改正に伴い、今後の傍聴体制をどうしていくべきか、検討が必要であると思われました。

また、傍聴者や議員はもとより、市職員やM C T Vで視聴する市民が本会議の運営を分かりやすく傍聴できるよう、モニターテレビの設置や一般質問席の設置についても、検討していく必要があると思われました。

なお、武雄市のように同時文字放送が実施される場合を除いて、聴覚障がい者からの希望に応じて、手話通訳者の派遣依頼が必要となることから、三沢市に常勤している手話通訳者の議会開会時の対応や、県のろう協会への派遣依頼体制の構築などについて、併せて検討していく必要があると思われました。

〔議会運営委員会行政視察（佐賀県武雄市）写真P 1〕



武雄市議会

議場

集合写真



武雄市議会

視察風景

委員長挨拶



武雄市議会

視察風景

説明時全景

(議員側)

[議会運営委員会行政視察（佐賀県武雄市）写真P 2]



武雄市議会

視察風景

説明時全景

(議員側)



武雄市議会

視察風景

説明時全景

(説明者側)



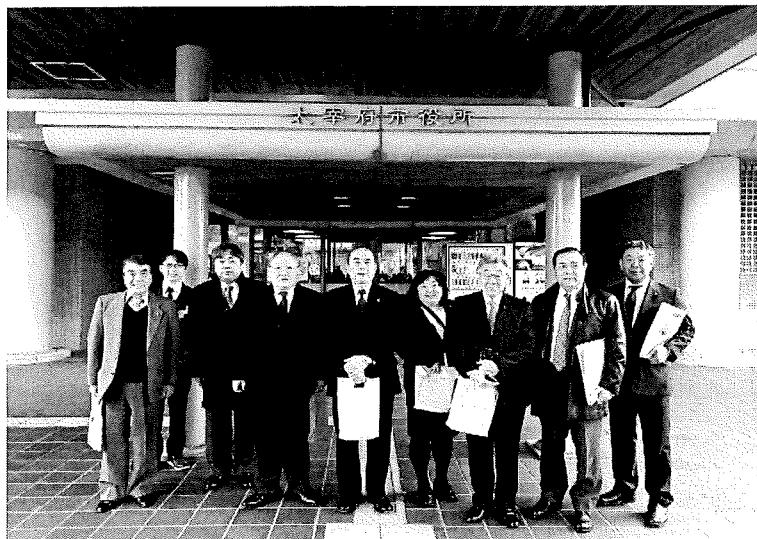
武雄市議会

視察風景

説明時全景

(説明者側)

[議会運営委員会行政視察（福岡太宰府市）写真P 3]



太宰府市議会

市役所前

集合写真



太宰府市議会

全員協議会室

議長挨拶

左：橋本健議長

中：花田議事課長

右：高原書記



太宰府市議会

全員協議会室

堤委員長挨拶

〔議会運営委員会行政視察（福岡太宰府市）写真P 4〕



太宰府市議会

全員協議会室

視察風景

説明時全景



太宰府市議会

全員協議会室

視察風景

説明時全景